

## 天人感応説

昔から言いならわされて来たのだが、ひとことで言えば、「人間による政（マツリゴト、つまり政治）が正しく行なわれないことが続くとき、天が怒って天災地変を引き起こし、人類に対する警鐘を鳴らすこと」をいう。・・・転じて、人間の驕りが限度を超えると「天」が懲罰をくだす、というものである。

3月11日、宮城県沖を震源地とする大地震が発生し、岩手、宮城、福島、茨城、千葉にいたるまで長さ500km幅200kmに及ぶ震源域でM9.0。いわば未曾有の大地震・大津波である。当日、われわれの診療所でも揺れを感じたし、道行く人も眩暈を起こしたのか、と不安になったという。・・・これを天人感応説でいえば「天の怒り」だという。・・・冗談じゃない、東北関東の人々がなぜ無能な民主党政権の人身御供にならねばならないのか。しかも時間が経過するにつれてその被害の甚大さが顕わになってきて、さらには福島原発で事故が発生し、またあちこちの避難所にいる人々の不自由な生活が連日連夜放映されている。これについては別に書く。

ところで、16年前、阪神大震災が発生し数多くの犠牲がでた。こ

の時の日本国の代表がかの村山トシ吉で、「なにせ初めてのことであり・・・」とトンチンカンな答弁をした。(阪神大虐殺に一部書いた。) 今回の地震・津波はいつ倒れてもおかしくない民主党政権の末期に発生したものである。いづれの場合も首相になってはいけな  
**い者が、首相でいることである。** この程度の人物を政治の都合で首相にしてしまった政界には失望しか覚えない。・・・前にも書いたような気がするが、水や食料は、毎日要るもので、1週間後には持ってきます、では何の意味もない。**今すぐだ！**

あまりの激甚災害に、あるかどうか知らないが防災本部が、つまり政府のことだが、パニックに陥っているとしか思えない。5日後だったか全国の自治体から大量の飲料水が宮城県庁に送られてきた。そして倉庫に山積みされている。ある記者が「なぜ保管しておくんですか？」と尋ねると、県職員が「緊急の要請があったときのために備蓄しています。」・・・何を言ってるんだ、このバカ！ 今が危急存亡の瀬戸際じゃないか！ 今県民に配布しないでいつ配布するのだ。・・・役人の発想はこういうもので、全国から送られてきたものは、税金と一緒に、自分たちのもの(別にこいつらに対して払ったりしたものでもないのだが)と思いついでいるフシがある。

許認可権を楯に自分の采配で配ったりすることができる」と勘違いしている。それで時間が経って余ったら捨てよるねん。

勘違いというなら民主党政権そのものである。先の官房長官は、自衛隊を「暴力装置」と呼び、菅も罷免しなかった。その程度のが災害があると自衛隊に出動命令を出して救助にあたらせる。自衛隊員の士気を喪失させるようなことを言いながら、利用だけしようというのか！ ボクに言わせれば、菅は狂っているか、思考停止に陥っているんだ、こんな大事なときにもまだ自らの延命を図ろうとして起用したのだろうが、アホのオネエチャン2人には呆れてものも言えなかった。ボクの周囲だけでももっともっと優れた女性が山ほどいる。なにも選りに選ってこんなのをだすことはないだろう。

村山と菅の共通点を言いましょうか。村山のときは大地震、オウム真理教の無差別テロ、その他もろもろの天災（一部人災でもあるが）。地震のとき、世界各国から援助のため、救助犬や医師の派遣を申し出てくれたのに対し、検疫やら医師免許の問題を持ち出してご丁寧にも断ってしまった。人心の荒廃が顕著になった頃である、金さえ持っていればいいのだろう、贅沢三昧の日々でもあった。このとき、全国から多額の義捐金が送られてきて、「日本人もまだまだ

捨てたものでもないですネ」と語り合った。菅政権では、今回の大地震大津波。やはり世界中から援助の手が差し伸べられた。たとえば米国は原子炉のために冷却材を送ろうか？ わざわざ断ってしまつて、3日も4日も経ってから冷却のための放水を自衛隊や警察、消防隊に被曝する可能性の高い危険な任務を強いる。尖閣での無為無策。昨年酷暑、今年酷暑・大雪。北朝鮮の発砲事件、ハイチの大地震、ニュージーランドでの地震の被害にあった日本人。北アフリカの革命の連鎖。前回のことをいちいち覚えているわけではないが、今回についてはまだ記憶に新しい。上記、いくらでもある内憂外患に対してまともな対応ができない政権であることは共通している。政権担当能力の欠如と表現するのはいいが、日本人全体が世界中からバカにされることになる。なにか、根底から欠けているものがあるような気がしてならない。「現地視察」と称して邪魔をしに行く。この国難のとき、「外敵」に配慮しているか？

まあ、それを選んだのも国民だから・・・しかしここまでひどいとは思わなかった、というのが国民 (Silent majority) の考えであり、現に昨年来の、あちこちの選挙の結果をみれば国民は民主党政権にノーと言っている。

2011. 03. 20.